

2 . 道路特定事業について

(1) J R 宇都宮駅西口広場

歩行者と車両相互の安全性を確保するために、歩車道を分離するなど、交通バリアフリー法の基準に基づいて整備改善を検討します。

歩行者の通行をスムーズにするために、歩道を面的にフラット化（一枚板化）して、必要な段差は車道側で調整する再整備を行います。

また、視覚障害者誘導用ブロック、案内サイン、舗装面を改善します。

- ・ J R 宇都宮駅西口広場では、「歩行者の安全性」、「乗り継ぎ環境」、「誘導・案内と歩行環境」の3つの視点から、改善方策を検討しました。
- ・ 「歩行者の安全性」については、『安全で円滑な歩行空間の整備に関する検討』を進めるものとし、歩行者と車を分離するなど、交通バリアフリー法の基準に基づいて整備改善を検討します。
- ・ 「乗り継ぎ環境」については、歩行者の通行を優先するため、歩道面を一定にして必要な段差を車道部で調整するような改善を進めるものとし、『バス乗降場、タクシー乗降場や一般車両乗降場における乗り継ぎ環境の改善』、『横断歩道部分の改善』などを行います。
- ・ 「誘導・案内と歩行環境」については、『視覚障害者誘導用ブロックの改善、案内サインの改善、舗装面の改善』などを行いません。
- ・ 上記の考え方を 26 頁から 30 頁までに示します。
- ・ なお、各施設の整備に際しては、「道路の移動円滑化整備ガイドライン（*）」（平成 15 年 1 月 監修：国土交通省道路局企画課）に沿って検討・整備します。

*) 以下、「道路整備ガイドライン」という。

JR宇都宮駅における現状の問題と具体的な整備の考え方

現状の問題	具体的な整備の考え方
<p>(歩行者などの安全性) 歩行者とバス・タクシー・一般車とが平面交差し、安全面で支障がある。</p>	<p style="text-align: center;">安全で円滑な歩行空間の整備に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩車道を分離するなど、交通バリアフリー法の基準に基づいて整備改善を検討する。
<p>(乗り継ぎ環境) バス乗場では、ノンステップバスへの対応を図るために、乗場部分の歩車道段差を 25 cm から 20 cm に変更している。(通路部分は 25 cm のまま) タクシーや一般車の乗降場では、25 cm の段差となっており、車いす利用者などの利用に支障がある。 また、車道面を一定として歩道を切り下げているため、歩道面が波打ったり、すり付け勾配が急になっている。</p>	<p>【整備の基本的な考え方】 歩行者の通行を優先するため、歩道面を一定にして、必要な段差を車道部で調整する。</p> <p style="text-align: center;">バス乗降場における乗り継ぎ環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅舎から各乗場への横断歩道は、スムーズ横断歩道化を図る。 ・ ノンステップバスなどへの対応や、駅舎から各乗場への横断歩道のスムーズ横断歩道化を図るため、バス通路を含めて全て 15 ~ 20 cm 程度に変更する。(車道部の嵩上げ) <p style="text-align: center;">タクシー乗降場や一般車両乗降場における乗り継ぎ環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の福祉タクシーの普及も考慮し、段差を 2 ~ 5 cm 程度とする。(車道部の嵩上げ) <p style="text-align: center;">横断歩道部分の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー乗場やバス降車場と西側歩道部分を結ぶ横断歩道は、タクシー乗場と一体となったスムーズ横断歩道化を図る。(車道部の嵩上げ)
<p>(誘導・案内と歩行環境) 視覚障害者誘導用ブロックは必要最小限が望まれるが、タクシー乗場などへは設置しすぎていると考えられる。 ワークショップでは、案内サインが分かりにくい、ペDESTリアンデッキなどの舗装面がでこぼこして車いす利用者や高齢者にとっては通行しにくいと指摘されており、改善が望まれている。</p>	<p style="text-align: center;">視覚障害者誘導用ブロックの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー乗場では、先頭と 2 番目に視覚障害者誘導用ブロックで案内されているが、誘導員が不在の場合はどちらに行けばよいか分かりにくいので、先頭車両のみとする。 ・ 全体的な輝度比を確保する整備を行う。(歩道面の改善、サイドブロックの設置など) <p style="text-align: center;">案内サインの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存のエレベーターなどが分かりにくいいため、案内サインを充実する。 <p style="text-align: center;">舗装面の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いす利用者や高齢者が通行しやすい舗装面に改善する。

スムーズ横断歩道の事例(車道部を嵩上げして歩行空間を平坦に)

タクシー・一般車乗降場の事例(沼津駅北口広場 / 3 cm 段差をすり付け)

視覚障害者誘導用ブロックの輝度比確保の事例(同左 / 両側に黒系のサイドブロックを配置)



)「スムーズ横断歩道」、「嵩上げ」、「福祉タクシー」は、用語の説明(P51、P52)を参照。

J R宇都宮駅西口広場におけるバリアフリー整備の考え方 (1階部)

